

LA LETTRE DU SENEGAL



Bonjour ! ついに新学期がスタートしました

みなさんこんにちは！ JICA海外協力隊2023年度4次隊、青少年活動・松岡愛実です。セネガル共和国のバンベイ（Bambey）という町の視学官事務所（教育委員会にあたる組織）に所属し、小学校図書室を拠点に子どもたちへの読書推進や図書室の運営を主な活動として行っています。

10月に入り、ついに学校が始まりました！ と言いつつ、すぐに授業がスタートするわけではなく第1週は教員だけの話し合い、2週目は新入生の登録期間で、3週目くらいから本格的に授業が始まったようでした。10月は生徒たちが興味を持ってくれるように図書室内のディスプレイを毎日変えてみたり、折り紙を使って生徒とコミュニケーションを図ることに奮闘した1ヶ月でした。新学期が始まるまでは活動の不安もたくさんありましたが、いざ始まってみると自分自身も楽しみながら少しずつですが活動でき、さらには、よく来てくれる生徒たちが手助けしてくれたりして安心感さえ感じています。10月のセネガルは乾季に突入し、朝晩は涼しいですが日中は日差しがより強く照り付けています。肌や喉のケアがさらに念入りになった、そんな10月の活動報告です。

①乾季になり日差しがますます強くなった。大きなパラソルの下で休憩する家畜商人 ②雨季最後の大雨の翌日は家の前が冠水し犬も戸惑っていたように見えた ③図書室の施錠を手伝ってくれる生徒たち ④図書室によく来てくれる生徒たちと ⑤家の周りには子ヤギがたくさん。鳴き声が響いて賑やか ⑥日本からのEMSがバンベイにも無事届いた。送料とは別に引き取り料が必要。重さによって変わるが今回は10kg程の荷物で11,000f（約2,750円） ⑦帰宅途中にブタの家族に遭遇。赤ちゃんブタのお尻がかわいい



松岡愛実（セネガル名はファトゥ・ンジャイ）。高知県出身。JICA海外協力隊2023年度4次隊員。青少年活動で2024年5月からセネガル派遣中。首都ダカールから東に約130km離れた場所に位置する「Bambey（バンベイ）」の小学校図書室を拠点に、子どもたちの読書推進と図書室の運営維持を主な活動として取り組む予定。食べ物を前にすると目が輝く。セネガル料理（通称セネ飯）も大好きだけど、やっぱり日本食が恋しい29歳。



新1年生（CI）の登録期間

3ヶ月の長い夏休みが明け、ついに学校がスタートしました。第一週は教員の話合い、第二週は生徒の授業登録期間でした。校庭に机と椅子を持ってきて、新1年生の登録作業をしていました。生徒の登録には2,500f（約625円）かかるようで、保護者が申請書を提出し、支払い処理をするという流れなのですが、写真のように次から次へと手が伸びてきて同僚は大忙しでした。セネガルでは列に並んで順番を待つ習慣がありませんように感じます。

生徒たちから好評だったのは着せ替えのようにめくって遊べる「Drôles de hasards」という本です。めくると上半身が人間で下半身が動物になったりと視覚的に楽しめます。その他にも、文字を読むことがまだ難しい生徒たちと一緒に動物図鑑を開いて、動物を指差しながら、ウォロフ語での名前を教えてもらったりしています。



急遽開催、折り紙教室

授業が始まらない2週目は、生徒たちは学校に来てもすることがありません。その時間を活用して、図書室で折り紙教室を実施してみました。生徒たちが興味津々で折ってくれて、私が一番楽しかったかもしれません。



本棚づくりに奮闘する日々

10月の活動のメインは図書室のディスプレイ作成でした。図書館での勤務経験を活かし、生徒たちの目に留まってもらいたいなと思いながら毎日の反応を見て試行錯誤しています。折り紙が好評だったので、動物を折って飾ってみたり、フランス語で質問を書き、それにちなんだ本を集めてディスプレイしています。「Quel animal préférez-vous? /好きな動物は何ですか?」のようなかたちでコミュニケーションを図っています。

図書室だより

Bienvenue à la bibliothèque !



図書室の活用方法を模索

たくさんの生徒が足を運んでくれることはとても嬉しい反面、図書室がお祭り騒ぎになってしまい同僚に追い出されてしまう日も多々あります。この場所の活用方法を工夫していく必要がありそうです。



自己紹介カードを作ろう！

この日は自己紹介カードを書いてもらいました。見本を置き。言葉で説明しながら生徒たちに書いてもらいます。本当はそれぞれの自画像を書いて欲しかったのですが、恥ずかしいのか書いたことがないのか、ほとんどの生徒が見本の模写をしていました。「見本通りにしなくてもいいんだよ、好きに書いてね」と伝えられない自分がもどしかったです。今の自分が使える単語を引っ張り出しながら、みんなで和気あいあいと楽しめた日でした。



今月のウォロフ語

-Yendu ak jàmm（イエンドゥ アク ジャム）／ 良い1日を！

例：出勤途中、知り合いとの挨拶の締めによく使います。「マンガデム、イエンドゥ アク ジャム！」／じゃ行くね、良い1日を！